

# 組織変革でニッチトップ市場を強化

代表取締役社長 山内 格氏



## 江守情報

福井市順化1-24-38

新体制2期目となった江守情報グループの業績が順調だ。「グループ全体で前年度実績を上回る見込み。国内ニッチトップを目指してきた、新たな取り組みが少しずつ良い方向に転がり始めた」と振り返る。

同社は、大手のドラッグストアや卸売などに活用されている「物流管理システム」をはじめ、世界各国のさまざまな法規制を含めたデータベースを搭載する「化学物質管理システム」(国内600社超の化学メーカーがユーザー)、水位計など

の情報から下水道や河川の状態を予測し、異常気象から市街地を守る「下水道解析システム」など、ニッチ分野のシステム開発と製品で高い競争力を誇る。「行政職員情報総合管理システムも採用が相次ぎ、大きな柱となってきた」と、ニッチトップの広がりの説明する。

その実績に満足することはない。「新体制となつてから当社の強みをさらに引き出す仕掛けをしてきたという。それが、中間管理層をリーダーとした「ミドル・アップダウン」による、グループ

横断型のプロジェクトチームだ。「中間管理層に裁量権を与えることで、製品刷新やAI活用、デジタルマーケティングといった戦略などを素早く市場へ導入できる」とし、「現場発の改善や価値提案も増えてきた」と手応えを語る。

目指すは、経営理念に掲げる「エッセンシャルカンパニー」を実現し、顧客企業にとって欠かせない存在になることだ。「製品を通じて、お客さまへ課題解決という体験や価値を届ける。ものづくりのサービス化を進め、国内ニッチトップを確固たるものにする」とぶれない戦略を語った。